

## 編集室

夏のある日、混雑していた帰宅途中の電車で、小さな子供を連れ、両手に荷物を抱えた年配の女性が近くに立っていた。幼稚園児くらいの子供は電車で揺られ、体を右へ左へとふらふらさせていたのだが、祖母らしき女性は両手がふさがっていて、うまく支えきれない。荷物の袋には猫をモチーフにした、かわいらしいキャラクターが描かれていたので、おそらく多摩センターのテーマパークからの帰りだったのだろう。

駅間距離が長いこともあって、揺れはずっと続いていた。なんだか気の毒になって、おせっかいとは思いながら、網棚に荷物を上げましょうかと小声でいうと、「(電車を)降りるとき、手が届かなくて困るから」とやんわり言葉を返された。女性の背丈では網棚が高すぎるようだった。

日本の鉄道会社のことだから、「日本人の平均身長から計算して…」などと網棚の高さの設定についても数字的な根拠がきっとあるに違いない。低くしたら、身長が高い人は頭をぶつけたりしないように、逆に用心しないといけなくなるかもしれない。

余談だが、素材が昔のような網(糸)でなくなっても網棚、線路の枕木はコンクリート製に変わっても枕木と今も呼ばれているのは、どこか不思議だ。

網棚の高さをどうにかしてほしい、などと訴えるつもりはなく、学生の皆さんには、公共交通機関にはいろいろな人が乗っていて、思わぬところで不自由を感じている人もいるということを忘れないでいてほしいだけなのである。

(編集長 北村豊)

## STAFF

### ◎取材協力

学事部	国際センター
各学部事務室	入学センター
大学院事務室	キャリアセンター
学生部	学友会
ボランティアセンター	経理研究所
中央図書館	学員会 ほか

### ◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

### ◎学生記者

三ツ巻奈央(法4)	西沢美咲(総合政策4)
森美樹(文4)	芳賀葵(法4)
櫻井陸(文4)	近藤陽太(経済3)
堪山泰瞬(商3)	島田莉帆(文3)
影原風音(文3)	海老澤英奈(文3)
倉塚凜々子(国際経営3)	白井美有(国際経営3)
谷井花蓮(総合政策3)	高橋璃々(経済2)
合志瑠夏(経済2)	酒井優実(商2)
吉田未来(理工2)	三浦菜々花(国際経営2)
鈴木萌結(国際経営2)	北村結(総合政策2)
小西結音(総合政策2)	池田さくら(文1)
高橋来佳(文1)	= 順不同

### ◎制作協力

植田知美 北村美紀(株式会社CCG MANABI)  
加藤タカミツ(写真家)  
鈴木充(広研印刷株式会社)

Web版はこちらから閲覧できます。

「HAKUMON Chuo」の取材や  
編集に携わる「学生記者」も募集中です。



NEXT  
ISSUE

『HAKUMON Chuo』2024早春号  
No.280 3月24日発行予定

学生記者が  
総力取材!!

お楽しみに!



2023 秋冬号 No.279 2023(令和5)年11月30日発行

発行：中央大学広報室  
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

『HAKUMON Chuo』編集担当メールアドレス：hc-grp@g.chuo-u.ac.jp